

# ネイチャーセンターだより



## 春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

### ハウロクシギ

英名：Far Eastern Curlew 学名：Numenius madagascariensis



日本で一番大きなシギの仲間です。シギの間は、長くちばしと足をしているのが特徴ですが、ハウロクシギは特にちばしが長く、頭の長さの3倍くらいあります。

シベリアなど北方で繁殖をしたあと、オーストラリアまで渡って越冬します。日本には春と秋の移動の途中に休憩にやってきます。

風蓮湖・春国岱の干潟にやってきて、長くちばしを使ってカニなどを食べます。



## ネイチャーセンター日記

夏が終わりに向かい、7月下旬に花のピークをむかえたハマナスがだんだんと実をつけていきます。ホザキシモツケやナガボノシロワレモコウなどがピンクや白の花を咲かせ、草原や湿原をいろどります。

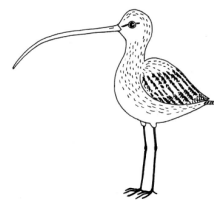
草原や森では、小鳥たちの子育てが仕上げの段階をむかえ、今年生まれた幼鳥たちは、飛ぶ練習やエサをとる練習に一生懸命です。水辺では、秋の渡りの途中に訪れたシギやチドリの間が、干潟を走ったり、石をひっくり返したりしながら、せわしなくエサを食べています。

生きものたちが運んでくる、秋の気配が楽しみな季節がやってきます。

## しゅんくにたい ～春国岱クイズ～

8月頃、風蓮湖・春国岱の干潟にたくさんやってくるシギという水辺の鳥は、下のどちらでしょうか？

A.



B.



ヒント

長い足とくちばしを持っているのが特徴！

こた らいげつごう  
答えは来月号

せんげつごう こた ほそ がた  
(先月号の答え 図1. 細いピンセット型)



# ネイチャーセンターからのお知らせ

## 春国岱ぶらっと観察会を開催しました

7月11日(土)8:30から春国岱ぶらっと観察会を開催しました。心配された雨も上がり風も無い穏やかな天気の中、自然の宝物を探しながら、春国岱の観察路を休憩舎までのんびりと歩きました。

ヒバリコースのハマニンニクが一面に茂る草原では、その合間に紫や白、黄色の花が顔をのぞかせ、潮がかぶるような場所では、アッケシソウの芽やウミドロの花を見ることができました。展望塔を通り過ぎるとハマナスの花がかぐわしい香りを漂わせ、ノビタキやヒバリたちが姿を見せてくれました。

途中、大きな魚をくわえたキタキツネと鉢合わせました。そのキツネは運んできた魚を別のキツネに渡して立ち去りました。魚を渡されたキツネはどういうわけか、うろろとその場から離れません。ふとキツネが見ている方向を見るとキタキツネコースに渡る木の橋がありました。私たちは橋から離れたところで他の人たちが橋から離れるのを待ってみました。するとキツネはこちらの様子をうかがいながら木の橋を渡ってゆきました。橋の向こう側で子ギツネたちが待っていたのでしよう。

予定より少し短い往復約5kmの散策でしたが、いろいろな生きものとの出会いを楽しむことができました。



## 春国岱学習会を開催

6月27日(土)根室ワイズユースの会主催で会員と市民の方を募集して春国岱についての学習会を開きました。

今年のテーマはタンチョウ。根室では身近な鳥ですが、知っているようで知らないことも多いので、タンチョウがどんな鳥なのかを知っていただくために開催されました。

まずは、タンチョウと生息地である春国岱を知るために、実際に春国岱を歩き、観察をしました。春国岱湾でエサを捕っていたタンチョウなどを観察した後、ネイチャーセンターに戻り、タンチョウ・ティーチャーズガイド(TTG)を使ってタンチョウの一年の暮らしなどを勉強しました。その後、今回の学習会のメインであるTTGに掲載されているタンチョウの学習のためのプログラムのやり方をグループに分かれて実習をまじえて練習しました。

知ることと共に、伝える方法についてご紹介した学習会でしたが、今回の参加者の方から、タンチョウや環境について考える輪が広がっていると思います。

## ボランティアの活動

### フィールドボランティア募集中！！

風蓮湖・春国岱で活動しませんか？

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。



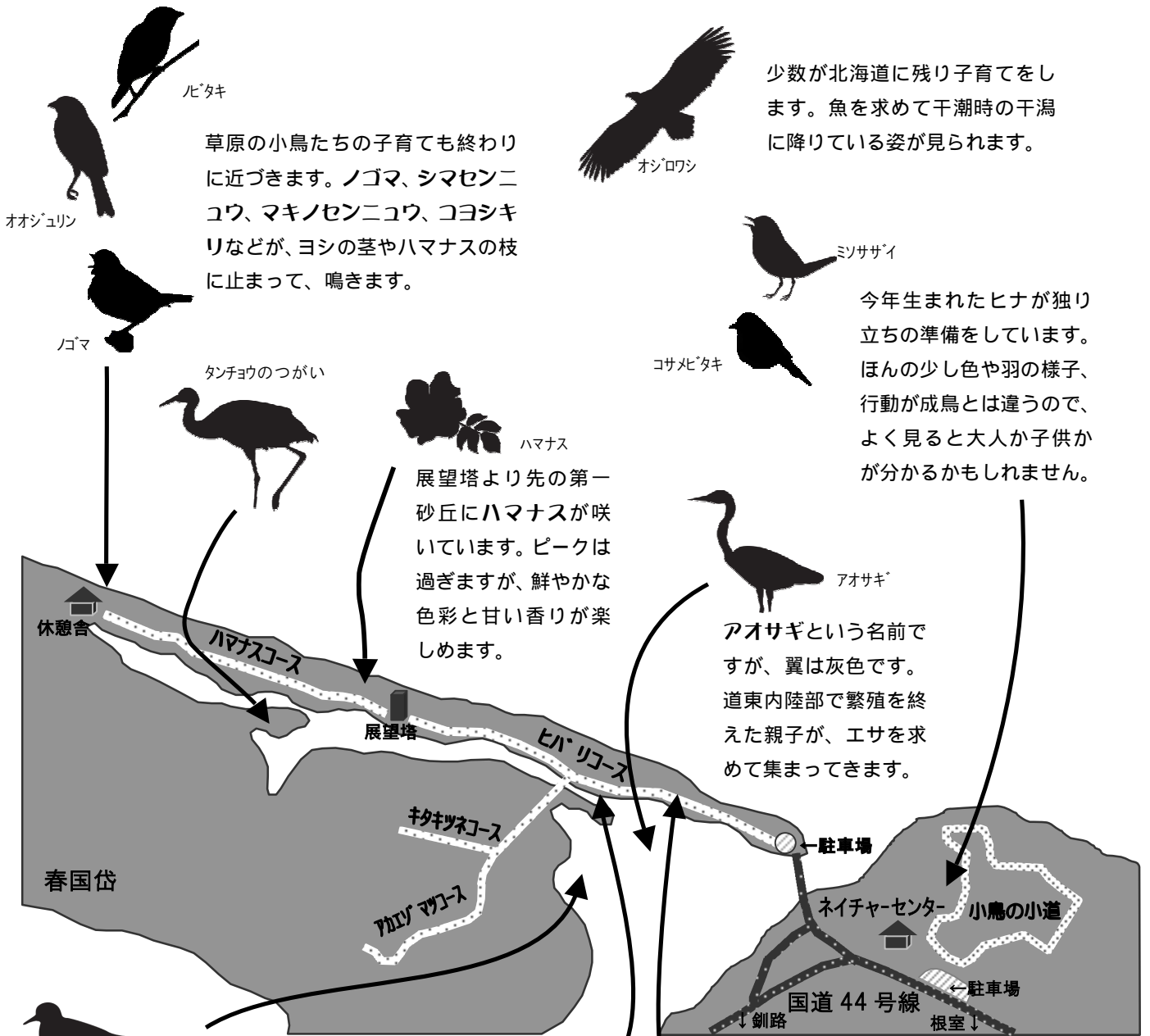
対象：高校生以上

保険料：300円(年間)が必要となります。

【お問合せ】電話 0153-25-3047



# 自然観察路周辺の自然情報 \* 8月 \*



ビタキ

草原の小鳥たちの子育ても終わりに近づきます。ノゴマ、シマセンニユウ、マキノセンニユウ、コヨシキリなどが、ヨシの茎やハマナスの枝に止まって、鳴きます。

オジロワシ

少数が北海道に残り子育てをします。魚を求めて干潮時の干潟に降りている姿が見られます。

ミソサザイ

今年生まれたヒナが独り立ちの準備をしています。ほんの少し色や羽の様子、行動が成鳥とは違うので、よく見ると大人か子供かが分かるかもしれません。

コササビ

ハマナス

展望塔より先の第一砂丘にハマナスが咲いています。ピークは過ぎますが、鮮やかな色彩と甘い香りが楽しめます。

アオサギ

アオサギという名前ですが、翼は灰色です。道東内陸部で繁殖を終えた親子が、エサを求めて集まってきます。



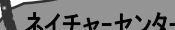
休憩舎



展望塔



駐車場



ネイチャーセンター



小鳥の小道



国道44号線



駐車場

お花



夏から秋の花が次々と開花します。ハマエンドウやエソオグルマ、ワンラン、エゾカワラナデシコ、ノハナショウブなどが湿地や草原を色づけます。

オオジュリン

ノゴマ

タンチョウのつがい



沖の仲間

ハマシギ

干潟や磯場、淡水湿地などに大小さまざまなシギやチドリの仲間がやってきます。干潮時に姿をみせてくれます。

ショウドウツバメ

ヒバリ

草原では、ヒバリの幼鳥が飛ぶ練習をしています。また、ショウドウツバメやアマツバメが、ものすごいスピードで飛び回っています。

エゾシカ



エゾシカたちは、明るい茶色の夏毛をしています。



キタキツネ

春に生まれたキタキツネの子どもたちが、だいが大きくなります。親から狩りの方法などを学びます。

# イベント・展示情報

## ★海辺の生き物を見つけに行こう！

春国岱・風蓮湖の周辺の海には、たくさんの生き物たちが暮らしています。潮のひいた海岸を探索し、隠れている生き物たちを見つけて観察します。小さな魚、カニや貝……どんな生き物が潜んでいるのか、彼らのヒミツに迫ります。

日時：8月8日(土) 9:00～12:00

対象：幼稚園生以上

(小学生以下は保護者同伴)

定員：20名(先着順)

集合場所：春国岱ネイチャーセンター

持ち物：濡れても良い服装、着替え、長靴、帽子、飲み物、軍手

あれば、小さなバケツ・タモ網

参加費：保険代 100円

申込み：8月3日までに電話にて受付



## ★クラフトコーナー

春国岱やネイチャーセンター周辺で拾ってきた自然の素材を使って作品を作れます。見本などを参考にしたり、自分で工夫してみたり、自由に作品を作ってみてください。必要な道具等はセンターでそろえています。

日時：7月25日(土)～8月31日(月)

午前9時～午後5時(随時)

対象：どなたでも

会場：春国岱ネイチャーセンター1階

参加費：無料、申込み：不要

## ★第8回コニカミノルタ・タンチョウ

### チャリティフォトコンテスト入賞作品展

タンチョウの魅力とその保護の現状について知ってもらうために、全国から応募されたタンチョウの写真のうち、入賞作品15点を展示します。

日時：8月1日(土)～8月31日(月)

会場：春国岱ネイチャーセンター1階

観覧料：無料

【お申込み・お問合せ】 電話 0153-25-3047 (春国岱ネイチャーセンター)

## 団体の方へ～解説プログラムのご案内～

- 事前にお申し込みが必要です。
  - 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。
- 詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。(電話 0153-25-3047)



- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| ① 野外解説・自然学習          | (～2時間 / ～20名)    |
| ② 春国岱の自然 (映像)        | (15分～25分 / ～45名) |
| ③ 自然クイズラリー           | (約1時間 / ～50名)    |
| ④ タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム | (30分～2時間 / ～20名) |
| ⑤ 施設概要説明             | (30分～2時間 / ～45名) |



### ～メール配信のお願い～

ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。  
連絡先：nemu\_nc@marimo.or.jp  
※ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。

## 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- 住所■ 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
- 電話■ 0153-25-3047 ■FAX■ 0153-25-8570
- HP■ [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)
- メール■ [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)
- 8月の開館時間■ 9:00～17:00
- 8月の休館日■ 5・12・19・26日

